【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公開番号】特開2001-68718(P2001-68718A)
【公開日】平成13年3月16日(2001.3.16)
【出願番号】特願平11-239661
【国際特許分類】
　Ｈ０１Ｌ　31/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｈ０１Ｌ　31/10　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月21日(2006.8.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
　特に図１に示す例では、基板１３の縁近傍領域３９にオーミック電極３５を設けているため、基板の外周部から発生し易いクラックを少なくとも基板の縁近傍領域３９のみにとどめることができ、ｐ＋ 拡散領域２１はもとより、それ以外の基板１３の領域（すなわち、縁近傍領域３９の内側の領域）にも、クラックが発生しにくくなる。ただし、図１では図３等に示す接触電極３７を省略して示してある。